

代官山MEDICAL 卒業生の勉強法 ⑥



●塩飽克庸君による東京慈恵会医科大学の傾向と対策 東京慈恵会医科大学4年 塩飽克庸君

慈恵の入試本番について書きたいと思います。

『1次試験』

五反田駅から TOC にいたるまでに配られる予想問題などには目もくれずに試験場にむかひましょう。(いまさら見ても手遅れです) 1時間目は、理科です。いきなり、合否のポイントになる科目ですが、落ち着いてのぞんでください。どの試験でも同じですが、本番はみんな賢く見えます。ペンの音も気になるかもしれませんが、しかし、1次が終わると、周りはほとんどが不合格です。(受験番号1番から私の受験番号34番までに受かったのはたった1人です。)周りを気にするのは損で、意味のないことです。午後の英数は、比較的ゆったりのぞめるはずなのでじっくり取り組んでください。慈恵は、補欠がかなり出ます。あまり出来がよくなくても最後まであきらめずに頑張ってください。

『2次試験』

○1回目の集団討論

テーマ：①クイズ番組で正答率の非常に悪い芸能人がいるが、その人たちは教養がないと思うか？

②成人年齢を引き下げることについてどう思うか？

聞かれることはさして難しくはありません。5人のなかで考えがまとまった人から挙手をして答えます。急ぐ必要はなく、ゆっくり考えて発言しましょう。司会の先生はよく話を聞いてくれましたが、他の2人の先生は、やや陰しい表情をしていました。一通り発言が終わると、先生方が話を掘り下げます。個人的に突っ込まれるというよりも、5人の発言から議論を深める感じです。焦ってわけのわからないことを言うと突っ込まれるかもしれません。グループにもよるとは思いますが、面接時間は多くの資料に書いてある50分よりはやや短いと思います。

○2回目の個人面接

軽く自分自身のことを聞かれるだけです。練習は必要ですが、自然体で答えましょう。「医師・慈恵の志望理由」「高校生・浪人時代のこと」などは整理しておきましょう。面接は、聞かれることが予想されていることについては、大体何を言うか決めておきましょう。しかし、台本のようにカッチリきめてしまうと、度忘れした時に大変なことになるります。面接は劇ではなく、会話なのでキーワード程度にとどめ、自分の言葉ではなしましょう。不意打ちの質問は、面接官も答えづらいのは分かっています。うまく答えられたらラッキーくらいの気持ちで、落ち着いて考えてみましょう。「わからないです」で逃げるのも手ですが、印象は良くないので、何か自分なりの見解を示しましょう。「自己紹介をお願いします。」や「部活はたのしかった？」など、意外と短く答えが終わってしまう質問があります。1問1答みたいになりそうなら、具体的にしたり、その内容が医師になるにあたってどういう意味・利点があるかを少し付け加えると、答えらしくなります。1次通過後に面接は、じっくり練習してみてください。

東京慈恵会医科大学の傾向と対策は以上です。少しでも参考になれば幸いです。